

# とうじいの山甲から

たいぶさみさき

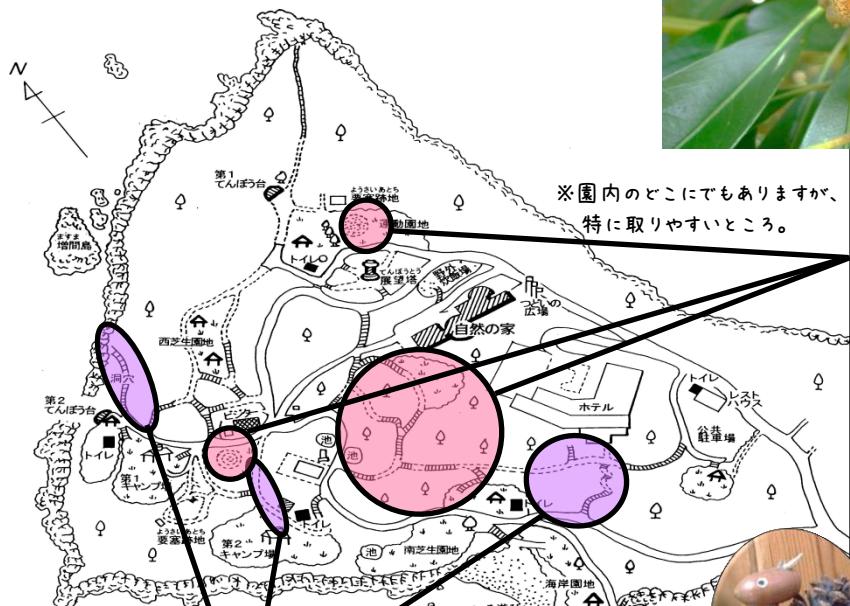
大房岬自然公園ニュースレター No.92

2014年  
10月

一年で一番過ごしやすい季節の到来です。少し肌寒い夜に囲む火の暖かさは何とも言えませんね。公園も実りの秋を迎えます。人間の子ども達と動物とのどんぐりの取り合い合戦が始まっています。

## たいぶささんぽ

自然の様子や最近の出来事など、旬の公園情報をご紹介します。



実りの秋。  
自然からの贈り物

## 「マテバシイのどんぐり」

ドングリといえば、コナラなどの落葉広葉樹を思う方も多いかもしれません。常緑樹のシイ類もどんぐりを沢山つけます。大房岬で圧倒的に多いのがこの地域では“とうじ”と呼ばれる「マテバシイ」。このどんぐりは戦前までは食用にされており、コナラのどんぐりはアク抜きが必要ですが、マテバシイは炒るだけですぐ食べられるので、手頃な栄養源だったのでしょうか。

ビジターセンターでは可愛いこのどんぐりを使ったネイチャークラフト体験ができます。ぜひ公園の思い出にしてください。



ネイチャークラフト体験  
\*材料・体験費込 ¥300  
\*ビジターセンターで  
いつでも体験できます!

## 大房的“ヤマブドウ”

## 「エビヅル」

秋の美味しい味覚と言えばブドウ。山で採れるブドウと言えば「ヤマブドウ」ですが、公園にあるのはこの「エビヅル」。甘酸っぱい紫色の実です。でもなぜ“エビ”…?昔はブドウのことを「エビ」と呼んでいたそうです。そしてこの実から染めた、深い紫色を「エビ色」と呼んで親しんでいました。

渡り鳥の季節。  
変な名前の由来は…  
「ウソ」



夏には北国の針葉樹林帯で暮らしていますが、この時期はここ大房にも渡り鳥としてやってきて冬を越します。ほっぺがピンク色の可愛らしい鳥です。「ウソ」という変な名前は、口笛を意味する古語「うそ」から来ていて、ヒホーと淋しげな口笛のような鳴き声を発することから名付けられたとか。「嘘」とは関係がなかったんですね!



Lunch!Lunch!Lunch!!  
キャンプ好きの人もそうでない人も!  
大人も子どもも!  
おじいちゃんおばあちゃんも!  
みんなで南房総の  
うんめえもん  
食うべえよ～♪

たいぶさみさき  
主催: 大房岬自然公園

# 大房 キャンパスランチ

おいしい食材に恵まれた南房総。焚き火料理ができる環境が整っている公園で、みんなで美味しいお昼ごはんを作つて食べようといふイベントです。  
キャンプ利用の方でも、立ち寄りの方でもどなたでも参加OK!! 各回募集中◎



10/26(日)

わだ  
和田の  
鮭

× 直火鍋

チキンナント  
くじらインドカレー



12/14(日)

とみやま  
富山の  
チーズ

× ダッヂ  
オーブン

リバットと  
丸鶏のローストチキン

× 焚き火

11/30(日)

しらはま  
白近の  
星見和豚  
&野菜

パンからつくる!  
炭火焼き豚バーガー

2/8(日)

たてやま  
館山の  
魚貝

× ダッヂ  
オーブン

ほっこり塩釜料理  
アクアパッツア

とみうち  
富浦の  
菜の花 &  
ばばり

× 鉄板  
焼き

1/25(日)

お申込みは  
お電話で◎

アツアツおやきと  
オオバフクメのスープ。

